

「大一版品川めし」の実現～探究学習～

校長 吉川 信次



「品川めし」という料理を聞いたことはあるでしょうか？かつて品川区が漁師町だった頃の賄い飯で、シャコやアナゴといった季節ごとに採れる雑魚を甘辛く煮てご飯にのせた井ものだそうです。しかし、確かな情報は残っておらず本来のレシピも残されていないのです。品川区役所の食堂のメニューには「品川井

(めし)」があります。いろいろと試行錯誤しながら形を変え、現在では、3代目？品川めし「品川井」として販売されており、あさりの炊き込みご飯の上にイカ・エビ・野菜のかき揚げがのっている井ものになっています。「品川めし」という伝統ある料理を様々な工夫を凝らしながら現在に再現しようと試みていることが分かります。実は、5・6年大一探究プログラムでも「品川めしを未来へつなげよう！」として取り組んだグループがありました。給食に導入するためには、予算的な面や多くの人から好まれる味付け、調理時間や手間など、様々な課題がありました。シャコやアナゴは値段が高いため代わりにする食材を考えたり、家庭科室で実際に調理をしたり、家庭での協力を仰ぎながら試作品を作り試食をしたりするなど、一つ一つの課題を乗り越えていきました。そして、遂に2月20日の給食で「大一版品川めし」が実現することになりました。実際に献立を作成している栄養士の森先生と子どもたちに話を聞いてみました。

【森彩加栄養士】

子どもたちの提案を実現したいという思いで、子どもたちの試作品と品川区役所の食堂で提供されていた品川めしの情報を参考に献立を作成しました。給食室での大量調理や教室での配膳のしやすさを考慮し、炒り卵をちらし寿司に混ぜ込みます。また、ちらし寿司に乗せる魚は、給食の献立によく使われるタラを使用し、甘辛いタレが絡みやすいように揚げることにしました。楽しみにしてください。

【子どもたちの感想】

最初に実現できると知った時は、とても嬉しかったです。私は品川区にある伝統食「品川めし」を広めようとの思いでこの活動を始めました。給食に出せるように試行錯誤をして多くの人が食べられるようにしました。私はこの活動を通して地域の魅力を多く知ることができました。品川のことについて調べていると、品川めし以外の地域にまつわる伝統を知ることができました。この活動を通してより多くの人たちに品川の伝統を広げていきたいと思いました。

5・6年生の探究学習では、社会や地域、周りの人たちと関わりながら自分たちの考えを発信したり、提案したり、一緒に活動したりすることを大切に学習しています。そして、結果だけでなく学習の過程を重視しています。「なぜうまくいかなかったのか」「うまくいった理由は何か」「どうすれば実現できるのか」「結果が出た理由は何か」一人一人が自問自答しながら、またはグループで検討しながら自分なりの答えを導き出していくのです。今後も探究する心を大切に、未来を切り拓く力の育成に努めてまいります。2月20日(木)に給食で提供される品川めしの感想を是非お子さんに聞いてみてください。

フレンドまつりに向けて

6年担任 田場川 優子

昨年度まで12月に行っていたフレンドまつりは、今年度、2月の開催となりました。それに伴って様々な変化がありましたが、子どもたちは工夫しながら取り組んでいます。高学年としてお店を企画出店するのは2年目です。6年生として5年生と連携を図りながら、フレンドまつりに向けての準備をしています。どの学年の人にも楽しんでもらえるようにするためには、場の設け方が重要となります。

フレンドまつりのキックオフは11月5日でした。どんなゲームを行うか、店の内容からルール決めまで、どのクラスでも綿密に打ち合わせを行い、150周年を盛り上げる内容も考えてくれていました。ゲームのルールと合わせて重要なのが、会場レイアウトです。お客さんにどこから入ってもらい、どこでどのようなゲームをしてもらうのか。教室にある椅子や机なども有効に使いながら、動線を考える必要があります。実際の会場図をイメージしながら、試行錯誤する姿が見られました。二回目の打ち合わせは、一週間後の11月11日でした。前回の話し合いを受けて、より具体的に計画をつめました。低学年も楽しめる内容か、安全への配慮がなされているのかについて再度検討し、事前告知用のポスターなどの物品の作成もしました。3回目に行った打ち合わせでは、実際に設営して、当日をイメージしたデモンストラーションを行ったり、実際にゲームに使用するものを試作してみたりと、クラスごとに思い通りの準備をしていました。

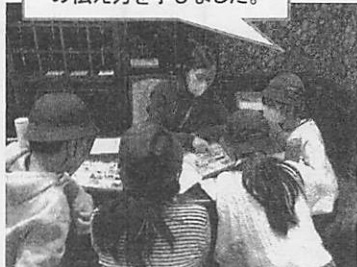
3学期は2月17日にリハーサルと最終調整を行い、21日の本番を迎えます。事前準備ももちろん重要ですが、その時その時に感じた課題への対処力、臨機応変力も試されるのがフレンドまつりです。どのクラスのまつりもより良いものとなるよう、最後まで粘り強く走り切ってほしいです。

<児童の意気込み>

- 私たちのクラスでは劇を行います。どうすれば皆が笑顔になるのかを練習の時に研究をしました。必ず面白いものにします。
- フレンドまつりを盛り上げていきたいと思います！そのために、自分の役割を全うしたいと思います。
- 他学年の子たちがすごく楽しめるように、たくさん準備をしました。最高のおまつりになるように、笑顔でがんばります。
- 初めて運営側に回る5年生を引っ張って、みんなに楽しんでもらえるフレンドまつりにできるよう頑張ります！

ホテルエリア

宿泊客になりきり、要望の伝え方を学びました。



(TGG・学年の様子)



トラベルエリア

旅行プランを立てました。

4年担任 鈴木 由季

TGGに向けて事前に英語の授業で自己紹介や質問の質問の仕方などを学習しました。また、担当のエージェントの方とコミュニケーションが取れるよう、「Where are you from?」、「My name is ○○. Please call me ○○.」など、簡単な会話を身に付け、TGGに臨みました。

当日はグループに分かれ、子どもたちは緊張した様子で活動を始めましたが、エージェントの方が、児童に温かく話しかけてくれたことにより、子どもたちの緊張感が徐々にほぐれ、事前に学習した英語を使ってコミュニケーションをとることができました。

アトラクションエリアでは、ホテル、トラベル、エアポートに分かれ、非日常な空間で、飛行機の機内やレストランなど様々なシーンでのリアルな英語コミュニケーションを体験することができました。アクティブマージョン・エリアでは、六つに分類された多彩なプログラムを体験しました。英語学習と同時に様々な分野の知識・思考を深められます。今回は二つのプログラムを選択して行いました。「演劇をしよう」では、ボークルトレーニングやパントマイム、寸劇などを体験し、演劇ならではの発生方法や表現力を身に付ける体験を行いました。「火星での生活を考えよう」では、火星に関するクイズや動画を通して、火星での暮らしがどのようなものになるのかを学び、想像を巡らせグループで話し合う活動を行いました。

TGGで体験的な英語学習を通し、児童は「英語で伝わるって、すごい!」という感動を味わうことができました。英語で「伝わる」感動、「わかる」感動、「協働する」感動を今後の学習意欲へとつなげていきたいと思います。

スーペニアショップ

店員に好みを伝えながらお土産の購入の仕方を学びました。





年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて	静かに歩きましょう
保健のめあて	うがい・手洗いをしましょう
給食のめあて	食事のマナーを考えて食べましょう



2月の行事予定

今月の
避難訓練は
予告なしで
行います。

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	ネットリテラシー講座（6年）3校時 島根県益田市豊川小学校交流会（6年）4校時 フレンドタイム 縦割り班会議（5・6年）
3	月	安全指導 フレンドタイム（1～5年）	18	火	放送朝会 そろばん教室（3年）
4	火	放送朝会 入学説明会（14：00～）	19	水	給食集会 そろばん教室（3年） セーフティ教室（6年） ダンスクラブ発表会体育館（中休み）
5	水	起震車訓練（4年）	20	木	ダンスクラブ発表会体育館（中休み）
6	木		21	金	フレンドまつり（全学年） クラブ（最終）
7	金	保健集会 保小交流会（1年）3・4校時 委員会⑩	22	土	音楽朝会
8	土		23	日	天皇誕生日
9	日		24	月	
10	月	笑顔と学びのプロジェクト（合唱鑑賞） （1・3・5年）3校時（2・4・6年）5校時	25	火	放送朝会 定期考査（6年）
11	火	建国記念の日	26	水	
12	水	計測（6年）品川教育の日 赤ちゃん交流（2年月組）3校時	27	木	6年生を送る会リハーサル
13	木	環境集会 赤ちゃん交流（2年松竹組）3校時	28	金	音楽朝会 多文化共生授業（5年）委員会最終
14	金	児童集会 赤ちゃん交流（2年梅組）3校時			
15	土	土曜授業日（授業参観）2・3校時 租税教室（6年）1・2校時			

生活指導部より

生活指導部 片岡 今日子

2月の生活目標は「ろう下を静かに歩こう」です。

先日の放送朝会で、周りをよく見て、安全に生活しようという話がありました。その後すぐ、学校全体の意識が変わり、校庭での遊び方が改善されたところがすてきだなと思いました。一方で休み時間、「早く遊びに行きたい!」「ボールや遊ぶ場所が無くなってしまおう!」などの焦る気持ちで、つい廊下や階段を走ってしまう児童の姿を見かけることがあります。学校では、多くの人が生活し、廊下を行き来します。廊下では些細なことが、大きなけがや事故につながることも考えられます。一人一人が大一ABCの一つでもある今月の生活目標「ろう下を静かに歩こう」を意識することで、けがや事故を防ぐことができるのではないのでしょうか?自分のことだけを考えるのではなく、周りの人のことも考え、余裕をもって行動していきましょう。

リレーコラム「かかわる、創る」

2年担任 馬場 久寿

2年生は2学期に生活の「えがおのひみつ たんけんたい」の学習で町たんけんに行きました。お店の方にインタビューしたり、お店の中を見せてもらったりして、どんな思いで働いているのかを学習してきました。学習したことは12月の探究学習発表会で発表をしました。3学期には、町たんけんの学習を生かして実際の仕事の体験として、各クラスに「大一郵便局」を開局します。1、2年の児童同士や先生とはがきのやりとりを行います。開局に向けて、児童ははりきって仕事分担を決めたり、1年生への広報活動の準備を進めたりしています。2学期に様々なお店の方と関わった経験を生かして、1年生との貴重な関わりの機会としてほしいです。